

秋冬製品のご案内

●こてっちゃん牛もつ鍋シリーズ……………

今年で発売30年をむかえるおなじみの「こてっちゃん牛もつ鍋」です。
スープに使用しているにんにくを増やし、より専門店のような美味しさに近づけました。

リニューアル



こてっちゃん牛もつ鍋
醤油味

リニューアル



こてっちゃん牛もつ鍋
味噌味

●極亭 (きわみてい) …………… 博多名物牛もつ鍋シリーズ

ボリュームと美味しさにこだわった、ちょっと贅沢なもつ鍋シリーズです。

新発売



極亭
博多名物牛もつ鍋
にんにくとんこつ味

リニューアル



極亭
博多名物牛もつ鍋
醤油味

リニューアル



極亭
博多名物牛もつ鍋
味噌味

●旨美鍋シリーズ……………

簡便性と美味しさにこだわった具入り鍋シリーズです。
ご家庭で野菜などを加えて調理していただくだけで鍋料理がお楽しみいただけます。

新発売



旨美鍋
牛もつ入り
旨辛々鍋

新発売



旨美鍋
国産鶏つくね入り
とんこつ鍋

会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc.(コード番号2292東証プライム市場)
設立	1967年(昭和42年)5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容 (グループ)	食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業

株式メモ

■事業年度	毎年3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日	毎年2月末日
■中間配当金受領株主確定日	毎年8月31日
■定時株主総会	毎年5月
■株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■電話照会先	電話 ☎0120-782-031 (通話無料) 受付時間9:00～17:00 (土日休日を除く)
■インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所	東京証券取引所
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■単元株式数	100株



SFoods News

2022年8月中間報告

2022年3月1日～2022年8月31日





企業集団の営業経緯および成果についてのご報告

代表取締役社長
村上 真之助

当社の経営環境

当第2四半期連結累計期間において、新たな変異株によるコロナウイルス感染が急拡大したものの、政府の行動制限規制はなされず、経済活動は徐々に回復基調にありました。しかしながら、不安定な国際情勢や円安の進行で諸物価の高騰が進み、国民生活を圧迫しつつあります。日本社会全体がコスト高に苦しんでいる環境下で、当食肉業界においても、収益を上げることがますます難しくなっています。このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売り・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っている総合食肉企業集団として、食肉商品の安定的供給と事業継続及び雇用の安定に努めました。

営業の概況

食肉等の製造・卸売事業においては、物流など諸経費の高騰や原料調達不安定化など経営環境が日に日に厳しくなる中、より効率的な事業運営を目指して、業務改善等を行いました。製品事業においては、「こてっちゃん」の発売40周年を記念して、「ありがとうキャンペーン」を行い、オリジナルブランドの訴求を図りました。また、外食産業が徐々に活発化するにつれて、販売する商品群や販売チャネルが変動するため、変化を先取りする販売戦略の構築を進めました。コロナウイルス感染症の予防対策及び啓蒙活動については、引き続き担当部署の指導によりグループ横断的に実施しております。

食肉等の小売事業においては、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めるとともに、お客様満足度の向上や品質管理の徹底等の諸施策を実施いたしました。食肉等の外食事業においては、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が時短営業を余儀なくされる事態となりましたが、3月の解除後は行動制限もないことから回復基調となったものの、新型コロナウイルス感染症拡大第7波の影響もあり、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様と従業員の安全の前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。

業績

当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の流行が下火になり、経済活動が持ち直しつつあることなどにより、売上高1,938億2千7百万円(前年同四半期比13.8%増)、営業利益85億8千7百万円(前年同四半期比6.5%増)、経常利益97億4百万円(前年同四半期比15.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益57億2千6百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,782億7千7百万円(前年同四半期比14.6%増)、セグメント利益は83億1千4百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は121億7千3百万円(前年同四半期比1.1%増)、セグメント利益は7億2千1百万円(前年同四半期比5.4%減)となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は29億2千1百万円(前年同四半期比48.8%増)、セグメント損失は3百万円(前第2四半期連結累計期間2億2百万円の損失)となりました。

④その他

売上高は4億5千4百万円(前年同四半期比39.3%減)、セグメント利益は2千9百万円(前年同四半期比23.6%増)となりました。

営業成績と財産状況の推移

●連結

単位:百万円

期別 区分	2021年8月 第2四半期	2022年8月 第2四半期	2022年 2月期	2023年 2月期予想
売上高	170,277	193,827	358,824	375,000
営業利益	8,066	8,587	17,427	14,800
経常利益	8,438	9,704	17,999	15,000
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	5,594	5,726	11,944	10,000
総資産	179,154	202,198	181,518	—
純資産	100,291	113,902	106,157	—

●配当の状況

単位:円

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期
一株当たり 年間配当金	60	64	70	78*
(中間配当金)	(30)	(32)	(35)	(39)
(期末配当金)	(30)	(32)	(35)	(39)*

*印は予定です

●株式の状況

発行する株式の総数 120,000,000株
 発行済株式の総数 32,267,721株
 株主数 4,387名

●株価の推移と株式の売買高

